

雲仙天草国立公園（雲仙地域）指定80周年等記念 環境省九州地方環境事務所長表彰 受賞者一覧

氏名・団体名	団体代表者名 (敬称略)	部門	功績概要
NPO法人 奥雲仙の自然を守る会	中田 妙子	自然環境関係功労者部門	<ul style="list-style-type: none"> ●当該国立公園の北部地域で唯一の利用拠点であり、公園内に残存する数少ない放牧草原である奥雲仙・田代原に着目し、自然体験・農村体験、清掃ボランティア活動を展開してきたことは、北部地域全体が国立公園として忘れ去られかけて車両で素通りされている中で、非常に貴重な取組であると言える。 ●長崎森林管理署（土地所有者）や雲仙市、雲仙島原農協（放牧管理者）と協定を結んで県内初の「遊々の森」を設定し、子供への環境教育を展開していることも先駆的である。 ●放牧によって永く維持されてきた草原景観及びミヤマキリシマ・ヤマツツジ群落の放牧頭数減少に伴う衰退に着目し、地道な被圧木除去の活動に取り組み、コンサルタントや長崎大学との協力によって計画的に進めようとしていることは、国立公園の魅力回復・向上に資する民間の自発的取り組みとして稀有。
みそ五郎まつり実行委員会	居原 重久	自然環境関係功労者部門	<ul style="list-style-type: none"> ●当該国立公園の南部地域で随一のパノラマを誇り、雲仙岳の南端に位置する高岩山に着目し、その化身である伝説の「みそ五郎」をモチーフとして、公園区域外の山麓地域におけるお祭り及びまちづくりに活用してきたことは、国立公園の資源（高岩山）の新しい活用方策として先駆的。公園区域外の山麓地域の住民における国立公園への親近感を高め、境界線を越えて山から海までの一体的イメージを生み出しているという点で、国立公園の普及啓発のあり方として先進的。 ●みそ五郎伝説の研究をとおして、巨人伝説が島原半島に広く伝わるもので、伝説の巨人が高岩山に限定されない雲仙岳全体の化身であるとの視点を導き出したことは、今後の山麓各地域及び島原半島外における巨人伝説を用いた雲仙岳全体に関する普及啓発の可能性を開いたと言える。
太田 一也氏	—	自然環境関係功労者部門	<ul style="list-style-type: none"> ●当該国立公園の中核を成す雲仙岳の噴火活動及び温泉生成に関する多岐にわたる研究を通して、国立公園の主要資源である火山景観や温泉の生成過程を明らかにするとともに、研究成果を活用したビジターセンターの展示や普及啓発資料の作成に積極的に協力され、国立公園の魅力発信に大きく寄与。 ●当該国立公園80年の歴史上で最大の事件であった普賢岳平成噴火に関する組織的な研究と防災分野を中心とする各種行政への協力は、噴火に伴う国立公園の中核資源のダイナミックな変化とその住民生活への影響（関連性）という真新しいテーマの提示、さらにはジオパーク認定の動きにつながったという意味で、国立公園の利用促進に寄与する活動と言える。
原田 一昭氏	—	自然環境関係功労者部門	<ul style="list-style-type: none"> ●国立公園（及び島原半島世界ジオパーク）内の様々なスポットの風景を美しい水彩画として描き、展示や絵葉書を通して広く一般の方々に魅力を発信されてきたことは、一般的な写真による観光PRとは異なる次元での国立公園の利用活性化に寄与する活動であったと言える。 ●制作された作品は今後も利用活性化に永く寄与することが期待される。
西川 利彦氏・利隆氏	—	自然環境関係功労者部門	<ul style="list-style-type: none"> ●俵石展望所は、島原温泉と雲仙温泉の中間に位置し、島原方面からの国立公園の玄関口でもあり、有明海及び天草諸島が広く展望できるため、休憩スポットとして活用する観光客も多い。当該国立公園の顔ともいふべき当該展望所について、親子2代に渡って長年清潔に管理され、ボランティア精神で献身的に取り組まれてきたことは、国立公園の快適な利用に資する活動と言える。
【感謝状】 公益財団法人 雲仙岳災害記念財団	古川 隆三郎	自然環境関係功労者部門	<ul style="list-style-type: none"> ●雲仙岳災害記念館の管理運営にあたり、国立公園80年の歴史上最大の事件であった普賢岳平成噴火について、噴火過程と災害実態を分かりやすくかつ詳細に展示解説しているほか、公園東端の眉山の江戸時代の大崩壊についても分かりやすく紹介し、環境省のビジターセンターの火山噴火展示の事前学習施設として機能している。 ●雲仙岳噴火の災害と恵みに関する企画展示や体験イベント等を通して、島原半島世界ジオパークの中核施設として機能し、環境省のビジターセンターを含めたスタンプラリーの企画・実施や、環境省のビジターセンターへの誘導も実施するなど、国立公園の利用促進に寄与してきている。 ●全国からの義捐金を有効活用した事例。